

JR九州 佐世保車両センターでオンサイト PPA による太陽光発電を設置
～再生可能エネルギーで CO2 排出量を削減～

株式会社ウエストホールディングスの子会社である株式会社ウエストエネルギーソリューション（代表取締役社長：江頭栄一郎、以下「ウエストES」）は、オンサイト PPA モデルによる太陽光発電システムを九州旅客鉄道株式会社（代表取締役社長執行役員：古宮洋二、以下「JR九州」）の佐世保車両センターに導入し、2023年4月中旬以降に発電を開始いたします。

オンサイト PPA モデルは、電気の固定価格買取制度（FIT 法）に依存しない電気の供給サービスで、お客様の屋根や遊休地に太陽光発電システムを設置することで、お客様の初期投資や太陽光発電システムの維持管理の負担がなく、一定期間にわたり、再生可能エネルギーの電気を提供するものです。

JR九州に今回導入する太陽光発電システムによる電力供給サービスは、JR九州が長崎地区における在来線車両のメンテナンス拠点である佐世保車両センターの屋根上に、ウエスト ES が太陽光発電を設置し、発電した再エネ電気を自家消費することによって、JR九州の CO2 排出量を削減するものです。今回の取り組みを皮切りとして、今後、他鉄道施設等への展開を検討してまいります。

両者はこれまでの関係をより一層強化し、社会課題であるカーボンニュートラル社会の実現に取り組んでまいります。

【設備概要】

(1)	設置場所	JR九州 長崎支社 佐世保車両センター(長崎県佐世保市早岐)
(2)	屋根面積	約 3,000 m ²
(3)	パネル容量	約 130kW
(4)	想定発電量	約 140,000kWh/年
(5)	発電開始日	2023年4月中旬以降
(6)	CO2 排出量削減率	▲ 17.2% (2021年比較)



佐世保車両センター



佐世保車両センター屋根上

■ 報道関係の方のお問い合わせ先

株式会社ウエストホールディングス 広島本社

TEL : 082-503-3900